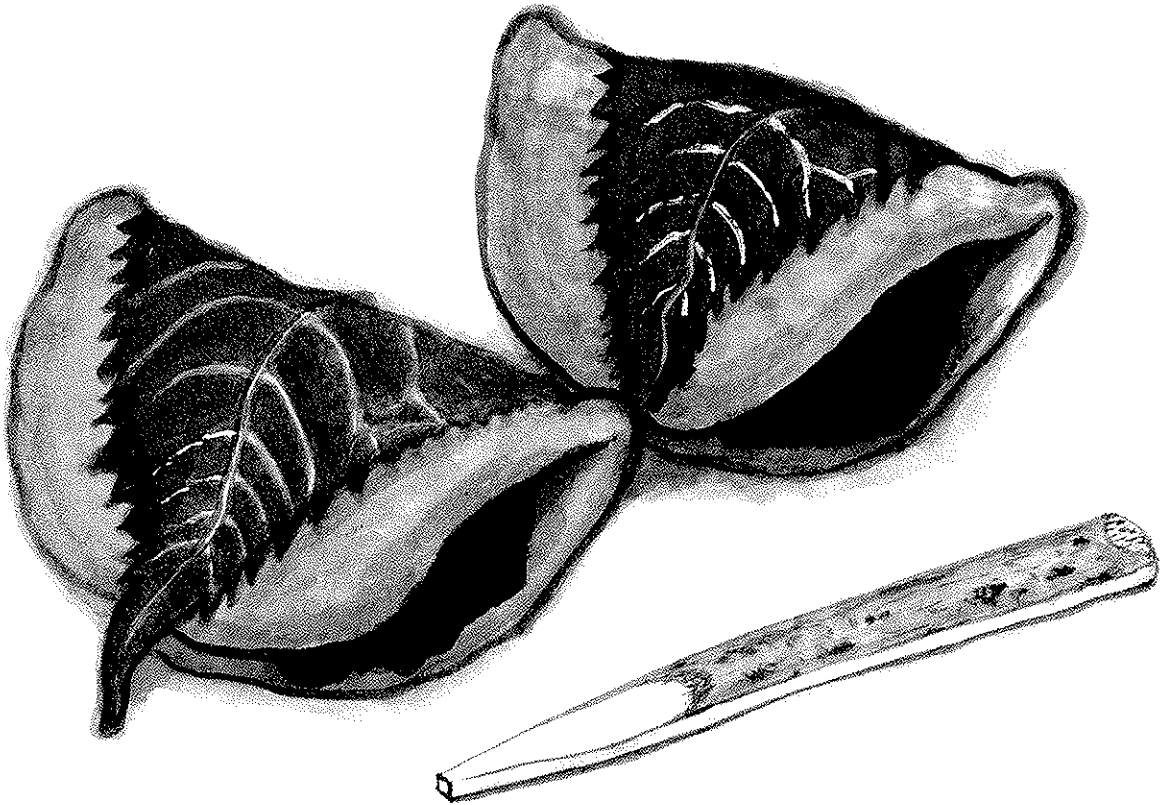


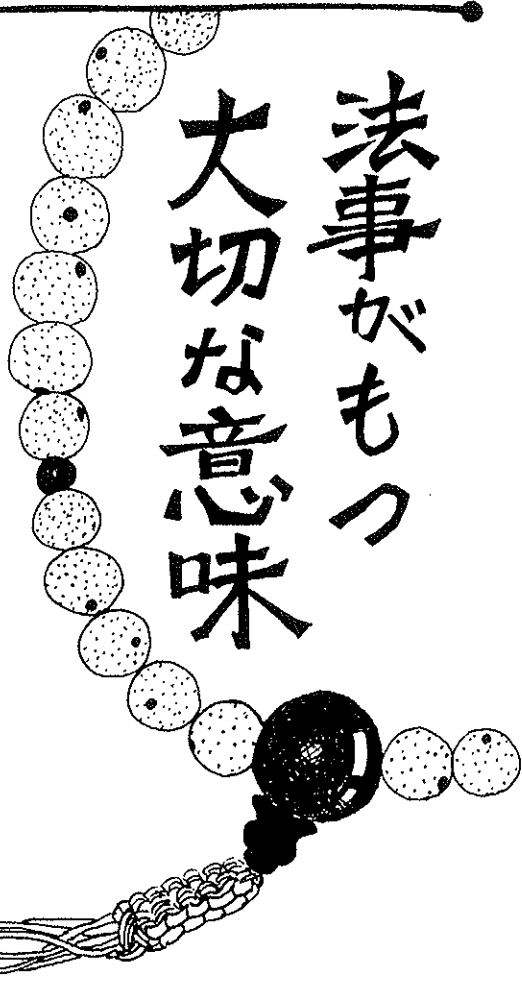
おかげさん

98号

真宗大谷派
高德寺通信
2022年春号



法事がもつ 大切な意味



新型コロナウイルスが世界中に感染拡大し、日本でも2020年の1月15日に最初の感染者が確認されてから、2年以上が経ちました。現時点でも人々が集まる行事や場所は制限されて、思うようにいなくなっています。葬儀や法事もそうですね。高齢の方や基礎疾患をお持ちの方は、お参りを諦めたり、法事の日程を延期されたり…。コロナは本当に厄介ですね。コロナ以前の生活に近い日々が、一日でも早く訪れることを切望しています。

今号では法事がもつ大切な意味を皆さんと一緒に確かめてみたいと思います。法事とは、亡くなっていかれた人のことをあらためて尋ねる仏事のことです。あつという間に過ぎていく日々の生活の中で、その人の生き方を静かに思い出すのは法事の時やご命日くらいなものではないでしょうか。忘れたことはないけれど、あらためて縁のある方々と一つところに集まって、自分と亡き人はいったいどんな関係があったのだろうか、そして何を願われているのだろうか…。そういうことを静かに尋ねる、いつてみれば亡き人との待ち合わせ場所、待ち合わせ時間なのではないでしょうか。例えば亡き人がお父さんやお母さんだったら…。その方が稀なご縁でお生まれくれたさうなかつたら、今、私はここに

いません。そのような大切な方が先立って
いのちを終えていかれたことを、あらためて
いただく日です。私はあとどれだけ生きる
か分かりませんが、残った人生をどう生
きていこうか、どんなものとして、いのちを終
えていこうか…自分も必ずいのち終わっ
ていかなければならぬに限りたいのちを
どう生きるかというのを考えさせてい
ただくのが、法事の大切な意味なので
はないでしょうか。

新型コロナ感染拡大の影響で、残念な
がら寺ではお齋(仏事のあとの食事)
が出来ないでおります。実はこのお齋
にも大切な意味があるんです。以前、
一乗真住職(大谷大学第29代学長)
から、「お齋は、ただ食べたり飲んだり
するだけではもったいないので、「一言コー
ナー」という時間を持つようにしています。
と、お聞きしたことがあります。その時に
どのようなものですかと質問したところ

「そくなった方との関係、あるいは何をいただい
ておられるのか…思い出一つでもいいので一言お話
してください」とお参りになった方々に話してもら
うんですよ。最初は皆さん嫌がりませんが話
しだしたら大抵の人は止まらなくなります。

あるご門徒のおじいちゃんの法事の時、中学生
の女の子(お孫さん)が、「私はおじいちゃんが亡くな
った時、まだ小さくて全々覚えてません。とこ
ろが今日、皆さんがいろいろ話してくださいな
ことを聞いて、ああ、おじいちゃんて素敵な人
だったんだなあと思いました。私はおじいちゃん
に恥ずかしくないように生きていきたいと思
います。」と話されたんですよ。中学生ですよ。
とお話してくださいました。弔問いた
くということはお参りくださった方々から、
大切なお話しを聞かせて頂き、亡き人のこと
をもう一度いただきなさい、亡き人と出逢
いなおすことなんだなあと思心いたしました。
コロナが収まってきたら、寺でのお齋も
再開出来るのだなあ、玄関先の芽吹
てきた柳を見ながら、咳せき住職であった…。

釋了吾の 八女日記

そのとら

皆さま、こんにちは。新年を迎え、あといつ間に2ヶ月が経ちました。八女の方では非常に寒い日が続いておりまして、昨年もそうでしたが九州なのに暖かくないなあと思っております。関東では大雪が降るといふニュースを何回か聞きましたが、お住まいの地域はいかでしたでしょうか？もうそろそろ八女日記としてのアイデンティティたる「八女」成分について書き記すものが無くなってきた感じが、八女日記でございます。さて、この原稿を書いている2月22日のニュースは、ウクライナ情勢のこ

とについてでいっぱいでした。おかげさん8月号が皆さまのところに届くころには、ウクライナはどうなっているのか、恐ろしい気持ちで毎日ニュースを見ています。様々な歴史的・民族的な軋轢があるとはいえ、武力による恫喝や現状変更の試みは、断固として非難されるべきだと思います。我々日本人には、遠い異国のことで関係ないだろうという声も耳に入ってきます。確かに、ウクライナは遠く8000 Kmも離れています。しかし、このような軍事力での恫喝によって、国際法違反の現状変更が行ってしまうという事実は、他人ごとではないと思います。日本でも領土問題が存在し、領海や領空をめぐって係争がありますから、何時我が事になるかもしれません。大学で歴史を専攻してきた様々な戦争がいかに起こってきたのかを学んだつもりでした。しかし、リアルタイムで次々と状況が変化していく様子を、手元のスマートフォンで見取れる現代で、まさか堂々と現状変更の試みが行われるとは思っていませんでした。ロシア側の言い分も解らなくないところもあります。平和を希求する憲法を大きな犠牲の下で規定した日本国民であれば、また一真宗門徒として、武力による恫

喝には回潮することなく、明確にNOを示すべきだと思えます。ウクライナの国民は自由を護るために戦うと言っています。戦争にならぬことを、今は希みが薄くなりつつありますが、外交交渉によって解決されることを願います。

そしてこの八女日記の原稿はパソコンで打ち込んでおりまして、代筆を父に頼んでいます。「前はどんなことを考えていたか」「同じことを書かないようにしなければ…」ということで、毎回過去の日記を読み返しています。すると面白いことに、数ヶ月だけでも自分の考えていることや、世間の状況などが劇的に変化しています。当たり前前のことなのですが、普段日記をつける習慣がない私にとって、なかなか面白い体験です。ちょうど去年の6月には、「コロナのワクチンを早く打ちたいです」と書いておりました。まだコロナもデルタ株が主流で、危機感を覚えていたことを思い出します。ずっと変わるものない「常」というものはない、初ろい

く「無常」の世の中を生きているのだなあ、日記を記すことで再確認させていたただいております。ともすれば、今生きている瞬間を「常」なるものだと、いつもいつも勘違いしているなど感じます。「いつまでもあるとおもうな親と金」ではないですが、何事も「いつまでもあるとおもうな」の心がけをして、有難いなといただいでいきな…そう思っております。代筆も、感謝しています。

最後に、最近 Youtube (YouTube) という動画サイトがある方が作った八女市を旅行する動画が出されました。私の勤めている明永寺さんの近所も多く出ます。長い動画ですが、テレビとは違った面から見える八女市の魅力、是非お暇な時にでもご覧ください。

QRコードを乗せておきます。
「八女はよかところ」です。

(笑)

つづく



※スマホで読み取ると観ることが出来ます…♪

旅行会

2022年

今年こそ... と思い年間スケジュール
には予定を入れてあります

全職は行く気
満々であります

が、しかし
.....

現時点での
オミクロン株の感染拡大状況を鑑みますと、有縁の
方々をお連れしての団体旅行はいろいろな面でリスク
が高いと判断いたしました。よって.....

楽しみにされていた方には申し訳
ありませんが今年も

中止

とさせていただきます
(涙)

夏の GOENZ

ゴーエンス

ライブパーティー... 開催が否か..

- 延べ 100人もの人が遊びに来てくれる(過去には)
- うるさいので窓を開けられない(エキ使用)
- 笑って、歌って、騒いじゃうでしょ..... どれも!

ということで全職は
ものすごく悩んでいます!
次号のおかげさん(9月号)
やHP(高徳寺)で
お伝えいたします。

法事についてのご連絡

コロナ禍においても高徳寺では年回の法事(一周忌とか三回忌、七回忌...)をお勤めいたしております。マスクの着用や人と人との距離をとり、消毒や換気にも注意を払っております。年回表*をご覧になりまして、ご自分の大切な故人様が法事の年に当たられておりましたら、ご希望の日時(第1・第2希望)をご検討の上、寺へご連絡ください。日程を調整させていただきます。コロナ禍での法事のお参りの人数は、お1人から20人までと様々ですが、高齢の方や基礎疾患のある方は、ご無理をなさらないようお願いいたします。なお、大変申し訳ありませんが、寺での「お斎」(お食事)は現在、ご遠慮していただいております。(今後、感染拡大の状況を鑑みて、その都度可否を判断させていただきます)

*「年回表」は毎年「おかげさん」の新年号に挿入しておりますのでご参照ください。お持ちでない方は寺へお問い合わせください。

お詫びと訂正

『おかげさん97号』に

(P.10) げんつうじ源通寺さんの寺名を原通寺と書いてしまいました...

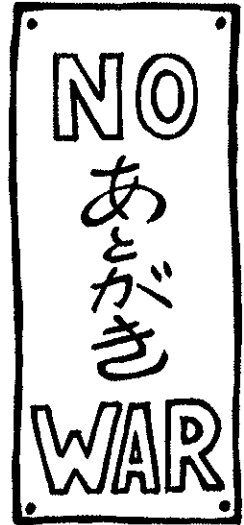
(表紙) 2022年新年号とするところを2021年...と書いてしまいました...

カンパ御礼

吉松タケ子さん
応援いただきまして誠に
有り難く存じます♪

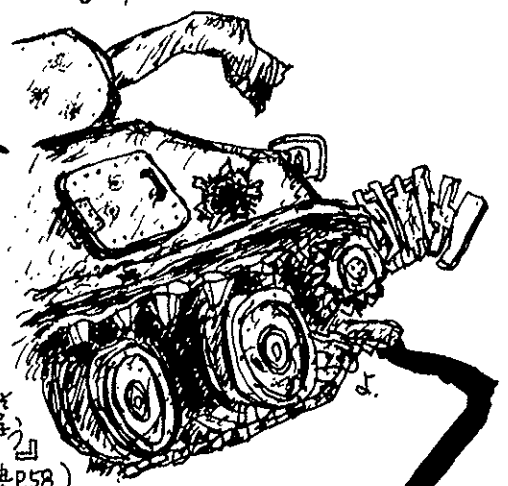
大変申し訳ありませんでした。
源通寺様にお詫びいたしました。

一部、訂正出来ないでお送り
お渡してしまったことを重ねて
お詫びいたします。m(_ _)m



ロシアのプーチンは、2月24日、ウクライナ
 に対する軍事侵略に踏み切り、ロシア
 軍とウクライナ国民の戦闘が今(2/28
 現在)も続いている。ロシア軍
 は軍事施設以外へも攻撃
 を行い、子どもを含む民間人
 の命が奪われているとの報道に胸
 が痛む。おそらくプーチン以外の
 ロシアの人々、そして世界中の人
 々が、この侵略戦争が一刻も
 早く終わって欲しいと願って
 いることだろう。尊いいのち
 が奪われ、美しい自然や生活
 の場が壊されていくのを見る
 のはとても辛い。ウクライナ国内外
 の方たちへ、自分の出来る支援をしていき
 たいと思う。

世人薄俗にして
 共に不急の
 事を諱う



『世人薄俗にして共に不急の事を諱う』
 (釋尊・大無量寿經下卷/鯨鬚典P.58)

発行日 2022.3.18

発行 真宗大谷派 高德寺
 編集 住職 新井義雄
 (法名 釋義祐)

《表紙の絵》
 『柑餅(からもち)』

〒164-0002
 東京都中野区上高田1-2-9

☎03-3368-6947 國03-3362-8019